

**総合科学技術・イノベーション会議が実施する  
国家的に重要な研究開発の評価**

**評価結果  
【概要】**

平成27年12月18日  
総合科学技術・イノベーション会議

# 「AIP: Advanced Integrated Intelligence Platform Project

## 人工知能／ビッグデータ／IoT／サイバーセキュリティ統合プロジェクト」(文部科学省)

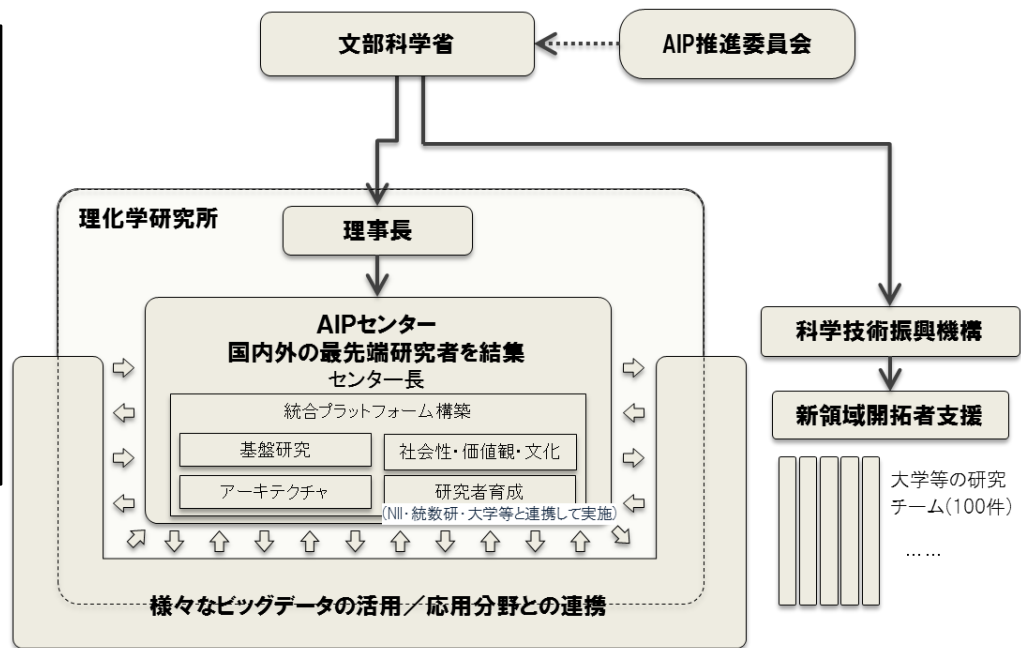
【実施期間】平成28～37年度 【予算】平成28年度概算要求額100億円

### 概要

人工知能やビッグデータ処理、IoT、サイバーセキュリティの技術を組み合わせ、高度な「統合プラットフォーム」を構築する。

このため、世界的に優れた競争力をもつ研究者の力を結集した新たな研究拠点（AIPセンター）を構築する。

あわせて、情報科学技術に関わる研究者育成に取り組む。



### 事前評価結果

#### 総合評価

**第5期科学技術基本計画が目指す超スマート社会の実現に不可欠な中核技術であり、国として早急に取り組むべき。**

#### 主要な指摘事項

実施体制の整備と開発戦略の策定は速やかに行う必要がある課題。とりわけ、以下の事項は、より速やかな検討が必要。

- ①ビジョンや**開発戦略等を決定する上で鍵を握るセンター長の人選**
- ②CSTIが提案した**文部科学省、経済産業省、総務省の取組**(p.2参照)**を統括するリーダーの配置、AIPセンターと経産省人工知能研究センターの拠点の集約化**
- ③出口を見据えた研究開発とすべく、**当初から産業界が参画する体制の具体化**

# 3省連携体制

文部科学省、経済産業省、総務省の3省が連携して研究開発を進める体制を整備。  
 (事業推進や情報発信等を一体的に実施)

